

高分子添加剤の測定

機能性の向上・維持の為、プラスチックには様々な添加剤が加えられている。中でもフタル酸エステル類は、柔軟性を向上し、加工性を上げる為に添加される可塑剤として幅広く使用されている。また、ビスフェノール類はそれぞれのものがエポキシ樹脂に用いられる一方で、酸化防止剤としても用いられる。

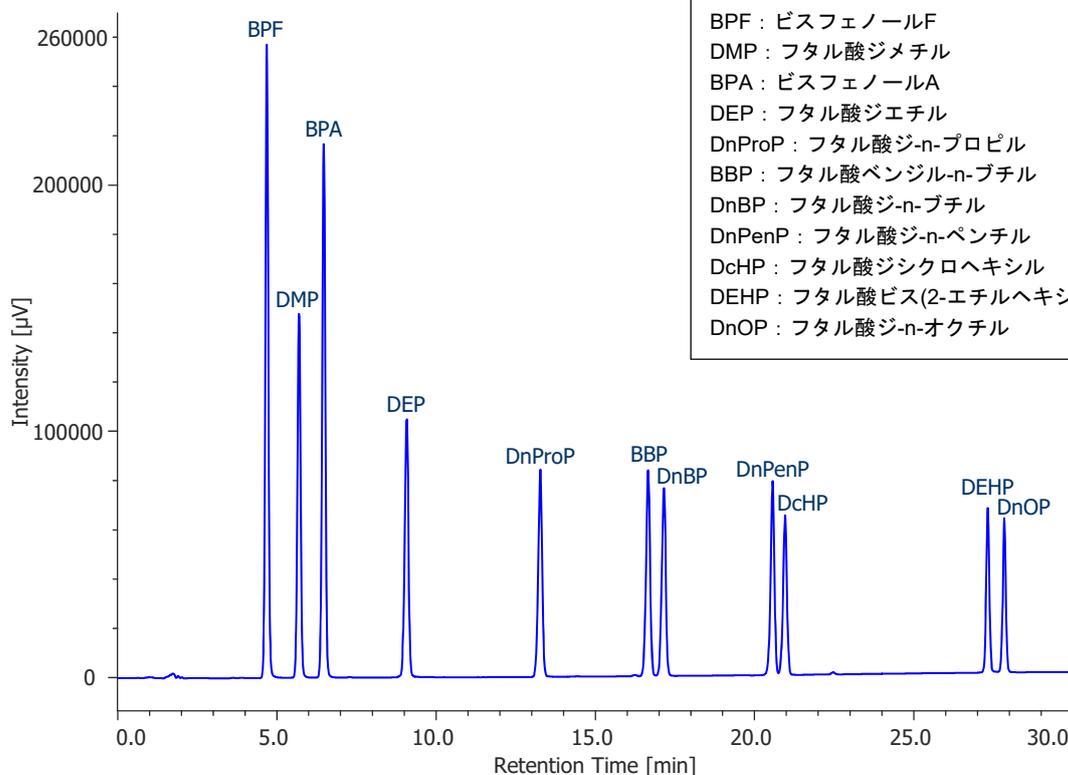
<測定条件>

カラム : J-Pak Supero C18
(4.6 mm I.D. × 150 mmL, 5 μm)
検出 : UV-225 nm
グラジエント溶出
移動相A : 水
移動相B : アセトニトリル
流量 : 1.0 mL/min
カラム温度 : 40 °C
測定試料 : 11成分混合試料

<グラジエント条件>

Time [min]	A (%)	B (%)
0.0	60	40
25.0	0	100
30.0	0	100
30.1	60	40

注入間隔 ; 45 min



BPF : ビスフェノールF
DMP : フタル酸ジメチル
BPA : ビスフェノールA
DEP : フタル酸ジエチル
DnProP : フタル酸ジ-n-プロピル
BBP : フタル酸ベンジル-n-ブチル
DnBP : フタル酸ジ-n-ブチル
DnPenP : フタル酸ジ-n-ペンチル
DcHP : フタル酸ジシクロヘキシル
DEHP : フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
DnOP : フタル酸ジ-n-オクチル

Keyword : 高分子添加剤, Supero C18, C18カラム, UV検出器, ビスフェノールA, BPA, ビスフェノールF, BPF, フタル酸エステル, フタル酸ジメチル, DMP, フタル酸ジエチル, DEP, フタル酸ジプロピル, DPP, フタル酸ベンジルブチル, フタル酸ジオクチル, DOP, DEHP